

中間支援活動助成(基本)事業 実績報告

団体名	(特非)姫路コンベンションサポート	代表者 名	(職名) 理事長	(氏名) 石井 恵美
事業名	中播磨・西播磨地域活動応援事業			

< 事業実施実績 >

	相談業務 延べ回数/団体数	ネットワークの構築 ・ 情報提供 件数	人材育成 (講座開設等) 延べ参加人数/回数	書類作成指導 件数	その他 (調査研究等) 件数
R5 実績	421回/103件	10件	30人/2回	10件	0件
R6 計画	20回/20件	30件	5件/5回	件	1件
R6 実績	35回/10件	25件	13件/5回	2件	0件

< 効果と成果 >

事業計画に対する達成度は低かったと感じた。特に、セミナーや交流会の場での集客にはかなり苦戦をした。中間支援とはいうものの、まだ活動が浅いため弊社へのそもそもの相談件数も少なく、スタッフの能力の向上も追いついていないのが現状だ。また、相談者も活動の情報発信のような直接集客に関わるセミナーについては興味があるが、団体運営の根幹に関わる事業計画セミナーや助成金獲得セミナーなどは参加者が少ない。

これは、弊社だけではなく中間支援団体にヒアリングをしても同じような回答であった。

市民活動団体は事業に追われており、立ち止まって法人の体制を整えることが難しいのではないかと推察する。

採択意見にもあった通り、相談員の養成なども他の中間支援団体とも協力し、息長く実施していく必要があると感じた。

< 今後の展望 >

市民団体の多くは、自身の事業を実施するのに精いっぱい、バックヤード部門の強化や人材育成などが手薄になる。よって事業計画などのセミナーは集客が難しいことが分かった。困ったときに個別相談をしたほうがニーズにも応えやすいと感じる。

弊社の中間支援活動歴が3年と短いので、まだ広く周知されていないと感じる。地道に活動を続けるほか、姫路市ボランティアサポートセンターなどの行政機関とも密に連絡をし、協力体制を取りたい。

講座内容は、広報ツールやSNSなどのアプリの使い方講座は、早くから定員に達した。本来は、事業内容とターゲット層に合わせてツールを決め、内容をまとめるということが大切なので、今後はそれも含めての講座にしたいと考える。

播磨地域は、大変広く活動団体も多いわりには中間支援団体が少なく、行政にも相談業務に精通した人が少ない。北播磨や東播磨で活動する中間支援団体とも協力し、中間支援団体そのものの強化をするなどし、業務内容の底上げをしたい。

相談者のスキルアップも大きな課題であると感じている。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
自己資金等	20,960
合 計	520,960

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	人件費	481,665	470,050
	旅費交通費	12,320	12,320
	会場費	8,480	8,480
	その他(広報費)	9,150	9,150
	小 計	511,615	500,000
間接経費(一般管理費)		9,345	0
合 計		520,960	500,000